

## IV 災害安全領域における組織活動

災害安全教育及び災害安全管理を円滑に行い、その充実を図るために重要となるのが防災に関する組織活動である。校内の教職員の災害安全教育及び災害安全管理における役割を明らかにするとともに、平常時及び災害発生時の防災体制の確立を図る必要がある。

また、日ごろから開かれた学校づくりに努めるとともに、災害教育推進委員会等を組織して計画の検討や実施に当たるなど、保護者や地域住民、消防署や自主防災組織等市町村の関係機関・団体等との密接な連携を図り、計画的な災害安全教育や災害安全管理の充実に努めることが重要である。

### 1 教職員研修の充実

学校における災害安全教育の推進は、安全教育と安全管理に携わる教職員の災害に対する知識・理解が大きく関係する。そのためにも、教職員研修は重要な意義をもっている。

#### (1) 校外における研修

ア 国や府・市町（組合）教育委員会、教育局等が開催する研修会や、府総合教育センター講座への参加及び校内での伝達講習 等

#### (2) 地域関係機関による研修

ア 地域での防災研修及び防災訓練への参加

イ 各消防署が主催する救命救急法等の研修への参加 等

#### (3) 校内研修

ア 校外の研修に参加した教職員による伝達講習

イ 多様な場面を想定した机上

(図上) 訓練

ウ 市町村の防災担当部局職員と避難所運営に係る研修 等



## 2 家庭、PTA、地域社会や地域関係機関等との連携

災害安全教育を推進し、充実するためには校内の指導体制の整備と家庭及び市町村の防災担当部局、自主防災関係団体等との連携が図れるような体制を整備する必要がある。

### (1) 各校で指導計画や指導内容を工夫するとともに、教職員、保護者、市町村の防災関係者及び専門有識者等と連携

- ア 消防署、自主防災組織等、関係機関・団体等との密接な連携
- イ 市町村の防災担当部局と連携
- ウ 地域住民と合同の防災避難訓練の実施
- エ 防災専門家等の活用
- オ 備蓄倉庫等の防災施設設備の確認
- カ 地域行事への児童生徒等の積極的な参加

### (2) 近隣の学校との連携

- ア 災害時の避難行動の統一化
- イ 合同の避難訓練の実施
- ウ 避難所運営の分担または協働の確立

